

第1学年国語科学習指導案

平成27年10月1日(木) 3校時
1年1組(男子10名 女子12名 計22名) 本時4/6
授業者 池谷 康史

- 1 **単元名** 登場人物の気持ちを想像しながら読もう
教材名 「かいがら」(東京書籍1年上)

2 単元の目標

- 物語を楽しんで、想像を広げて読むことができる。(関心・意欲・態度)
- 登場人物の行動を読み取り、そのときの気持ちを想像することができる。
(C 読むこと ウ)
- 自分の経験と結び付けたり自分だったらと考えたりして、登場人物の気持ちを想像することができる。(C 読むこと オ)
- 敬体で書かれている文章に読み慣れることができる。(伝国(1)イ(キ))

3 単元について

(1) 単元観

①本単元で取り上げる主な指導事項

本単元は、小学校学習指導要領国語の第1学年及び第2学年「C 読むこと」の指導事項「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」を取り上げて指導する。

②単元を貫く言語活動とその特徴

「C 読むこと」の言語活動例「ア 本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読むこと。」具体化した『「きっと(〇〇)(>_<)カード」で自分の気持ちを伝えよう』という言語活動を位置付ける。

ここで取り上げる「きっと(〇〇)(>_<)カード」は、登場人物であるくまの子とうさぎの子の会話や行動から、その時の気持ちを想像し、それに対して自分が思ったことや感じたことを書き表したものである。本教材は、くまの子の行動を中心に書かれていて、話の展開をとらえやすい。また、くまの子とうさぎの子の会話は短いながらも、気持ちを豊かに表現していて児童の共感を呼ぶであろう。更に会話を想像したり、会話の続きを想像することが楽しんで取り組める教材である。挿絵は、どの場面にも表情豊かなくまの子とうさぎの子の様子が生き生きと描かれていて、登場人物の行動や気持ちを読み取ったり、想像を広げたりする助けとなるであろう。挿絵や行動・会話をもとに登場人物の気持ちや会話の続きなどを想像することが、「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」の実現につながると考えられる。

(2) 児童観

児童は、50音の文字をすべて学習し終わり、濁音や半濁音、促音や長音、拗音も学習した。児童は字形や筆順に注意をして書いたり、自分の見たことや思ったことを少しずつ書けるようになってきた。6月下旬には、「～が～する。」と主語と述語の関係に注意して文を作ったり、助詞「は」「へ」「を」の使い方を理解し、自分の書きたいことを2、3文は書けるようになってきた。児童は、「あめですよ」(5月)で、リズムを楽しみながら挿絵を手がかりにして書かれている言葉から様子を想像する学習を行い、「とんこととん」(5月)「おおきななぶ」(7月)では、登場人物の行動を読み、話の展開を楽しみながら自分の思いを短い文章にして伝える学習を行った。さらに読み聞かせが好きで、読書ボランティアや図書委員会が行う読み聞かせを楽しんで聞いている。また、意欲的に図書館に足を運び、貸し出し冊数はどの学年よりも多く、読書に対する意欲は高いと思われる。しかし、「読む」ことになると拾い読みがやっとの児童もいる。教材文はすらすら読める力を身に付け、「読む」ことを通して語彙や知識を広め、得たものや経験、書かれている内容・文章を根拠に自分の思いを話したり書いたりすることができる児童の姿を求めたい。

(3) 指導観

第一次では、言語活動のモデル「きつと(〇)(>_<)カード」(「おおきなかぶ」のおじいさん)を見たり、実物の貝殻を見たりして単元のゴールイメージをもつ。そして、『「きつと(〇)(>_<)カード」で自分の気持ちを伝えよう』という学習のめあてをもつ。

第二次では、挿絵をもとに場面の順序・物語の大体をおさえ、登場人物の行動を中心にその時の気持ちを想像する。人物の行動の背景には、それを引き起こす思いや考えがある。登場人物の気持ちを考える時には、行動に着目し挿絵にある登場人物の表情を見て考えたり、これまでの自分の経験と結び付けたりして、国語科での学習活動を生活の中にも返していきたい。さらに自分だったらどうしたかなど、物語に出てくる登場人物を自分と重ね・比較しながら想像させ、行動につながる登場人物の気持ちに目を向けさせる。登場人物の行動や会話をもとに登場人物の気持ちを想像し、「きつと(〇)(>_<)カード」に自分が伝えたいことをまとめる。その際も、自分の経験と結び付けたり、自分だったらこうした、こう思ったといったことなども考えさせる。音読においては役割読みを多用し、担当する人物になりきって、会話文にある言葉の意味を考えながら工夫して読めるよう促したい。

交流では、児童の意見の中にある語彙を大切に、取り上げ全体で確認していきたい。そのことで気持ちを表す語彙や表情を表す語彙などがあることに気付かせ、児童一人ひとりの語彙を広めていくように仕組む。

第三次では、「きつと(〇)(>_<)カード」にまとめた登場人物に伝えたいことを全体で交流する。その際には、自分と同じところ・似ているところはないか、自分とのちがいを意識しながら交流する。また、友達の考えは、登場人物のどんな行動からそう思ったのか、登場人物の会話や行動をもとに共有する。意見→教材文→意見の流れで交流を進めていきたい。そのことが、「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」の実現につながり、次に学習する物語文「サラダでげんき」での学習に生かされると考える。

また、この単元で初めて国語ノートを使用する。段落や句読点についても合わせて指導をしていき、ていねいに書くことを心がけさせていきたい。

(4) 研究テーマとの関連

主体的に児童が学ぶためには、与えられた指示に従って学習を進めるのみではなく、児童自身が単元を通した学ぶ目的をもち、見通しをもって言語活動を進めていく展開をしていく必要がある。

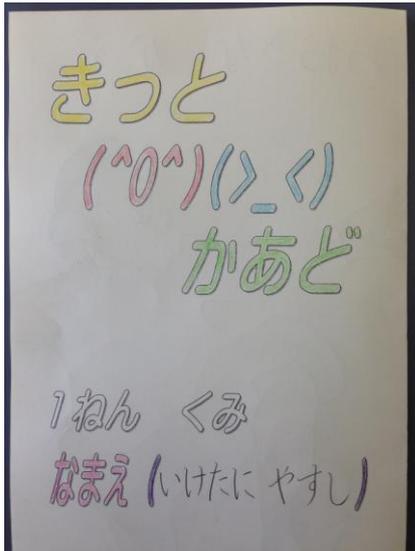
そこで、第一次の一時間目で児童が「自分にもできそうかも。」という思いを起こさせるように既習の内容も含まれたモデルを示し、ゴールイメージを明確にさせる。授業の中では、自分が考えたこと・伝えたいことが相手に分かるように書いたり、話したりすることを常に意識させる。他者を意識させ、自らの考えを深化・拡充するために友だちの意見も目的をもって聴くことで、教材文の文章を読み味わうことができると考える。そのために、まず①自分の考えを心の中でまとめてから挙手をする、②大きな声ではっきり話す、③発表時の言葉遣いを徹底させたい。話し手が簡潔に自分の考えを理由を挙げて話すことができれば、聴く側にとっても話し手の伝えたい内容が伝わり安心したり、新しいことに気付くことができたりする。それがペア学習や全体交流を深めるものになり、知っている語彙を精一杯使って、自らの考えや思いを表現しようと呼びかけ合うことに繋がると思われる。その際、機を逃さない評価が重要になってくる。児童一人ひとりが発する意見の中の語彙やつぶやきをもらさないように耳を傾け、その都度評価していきたい。

4 単元の評価規準

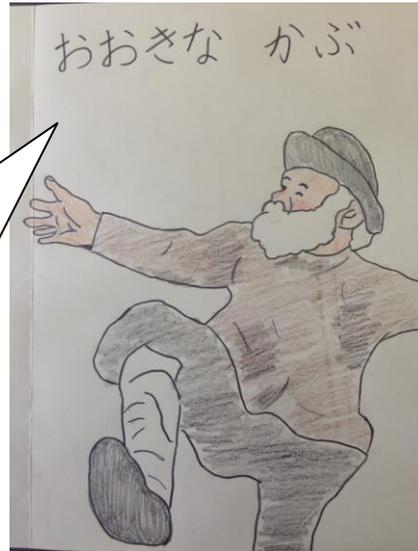
国語への 関心・意欲・態度	・物語を楽しんで、想像を広げて読んでいる。
読む能力	・登場人物の行動を読み取り、そのときの気持ちを想像している。(ウ) ・自分の経験と結び付けたり自分だったらと考えたりして、登場人物の気持ちを想像している。(オ)
言語についての 知識・理解・技能	・敬体で書かれている文章に読み慣れている。イ (キ)

<言語活動のモデル「きっと(^0^)(^_^)カード」「おおきなかぶ」のおじいさん>

【表紙】

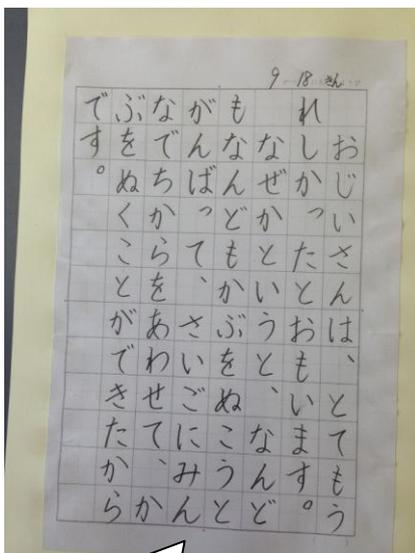


【中(右)】



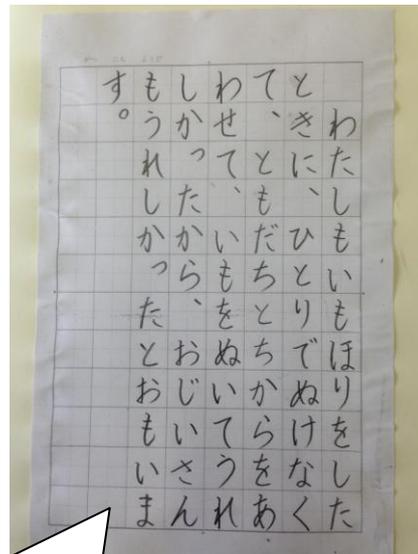
上に物語の題名を書き、その下に自分が誰の気持ちを想像したのか、その登場人物の挿絵を描く。

【中(左)】



登場人物の気持ちを想像し、なぜそう思ったのか理由も書く。理由は、物語の簡単なあらすじが入るようにする。

【裏】



自分の経験と結び付けて書く。自分はその時、〇〇だったから、登場人物もきっと〇〇だと思う、というように書く。もし、経験と結び付けられない場合は、もし自分だったらと考えさせ、私だったら〇〇なので、きっと登場人物も〇〇だと思う、というように書く。

5 単元構想図

単元を貫く言語活動

登場人物の会話や行動から気持ちを想像し、それをもとに登場人物に自分の気持ちを伝える。

◇学習の流れ

第一次

- 学習への意欲と見通しをもつ。
- 教師のモデルを見て、「きっと(^O^)(>_<)カードで自分の気持ちを伝えよう」という学習のめあてをもつ。

第二次

- 登場人物を確かめ、挿絵をもとに場面の順序・物語の大体をおさえる。
- 登場人物の会話や行動を中心に気持ちを想像する。
- 自分の経験と結び付けたり、や自分だったらどうするか考えたことを「きっと(^O^)(>_<)カード」にまとめる。

第三次

- 登場人物に伝えたいことを発表し、全体で交流する。
- 学習の振り返りをする。

単元で付けたい力

- ・登場人物の言動からその時の気持ちを想像し、自分の経験と結び付けたり自分だったらと考えたりする力。

◇意識の流れ

【児童の実態】

語彙力に差があり、自分の思いをうまく表現できない。

- ・自分が思ったことや考えたことを伝えるんだ。
- ・僕でも、できそうな気がするな。
- ・話したことやしたことをもとに考えればいいのか。

- ・これはくまの子で、こっちはうさぎの子が話している文章だね。
- ・この行動から、くまの子がやさしいと思うよ。
- ・私だったら、こうするね。だってあの時、こうだったから。
- ・きっと、くまの子はこんな気持ちだったろうな。だって、・・・。
- ・きっと、うさぎの子はこんな気持ちだったろうな。だって・・・。

- ・くまの子へ 一番好きな貝殻をあげちゃったけど、うさぎの子が喜んでくれてよかったね。私も、あの時・・・。
- ・うさぎの子へ 一番好きな貝殻をもらえてよかったね。だって、ぼくもあの時・・・。
- ・想像するっておもしろいね。

6 指導計画及び評価計画（全6時間）

	時	学習活動	主な評価規準
第一次	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「きっと(^O^)(>_<)カード」って何だろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・教師のモデルを見る。 ・単元の流れを知る。 ・教師による読み聞かせ（教材文）を聞く。 ・「登場人物」という言葉を確認する。 	【関】 「きっと(^O^)(>_<)カード」で自分の気持ちを伝えよう」というめあてに興味をもち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。 (発言、ノート)
	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「きっと(^O^)(>_<)カード」を書くために、「かいがら」はどんなお話だろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物を確認する。 ・会話文の話者を考える。 ・分からない言葉の意味を教え合う。 ・挿絵を頼りに物語をおおまかにとらえる。 	【読】 登場人物をとらえ、物語の大体をつかむことができる。 (発言、ノート)
第二次	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「きっと(^O^)(>_<)カード」を書くために、好きな場面を発表しよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「場面」という言葉を知る。 ・場面分けをする。 ・誰がどんなことをしている場面なのか考える。 ・好きな場面を選び、交流し合う。 	【読】 自分の好きな場面を選んでいる。 (発言、ノート)
	4 (本時)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「きっと(^O^)(>_<)カード」を書くために、好きな場面のわけを考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、その場面が好きなかわけを考え、交流し合う。 	【読】 自分の好きな場面について、登場人物の行動や会話に着目し、想像しながら読んでいる。 (発言、ノート)
	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分の気持ちを伝えるために、「きっと(^O^)(>_<)カード」にまとめよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・行動や会話から登場人物の気持ちを想像し、自分の経験と結び付けたり、自分だったらどうするのか考えたことを「きっと(^O^)(>_<)カード」にまとめる。 	【読】 登場人物の行動や会話を中心に、気持ちを想像しながら読むことができる。 (きっと(^O^)(>_<)カード、行動観察)
第三次	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分の気持ちを伝えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちを想像し、「きっと(^O^)(>_<)カード」をもとに自分の気持ちを伝える。 ・国語日記を書いて、これまでの学習を振り返る。 	【読】 自分の経験と結び付けたり、自分だったらどうするかといった根拠をもって考えた登場人物の気持ち、自分の気持ちを伝えようとしている。 (発言、行動観察)

7 学習の展開 (全6時間)

第一次 1時間目 (1/6)

(1) 目標 「きっと (^O^)(>_<)カード」で自分の気持ちを伝えよう」というめあてに興味をもち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>「きっと (^O^)(>_<)カード」って何だろう。</p>	<p>○これまでの学習を振り返り、本教材に向けて興味や意欲をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 教師のモデル「きっと(^O^)(>_<)カード」(「おおきなかぶ」のおじいさん)を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おおきなかぶ」の話は知っているよ。 ・私もおじいさんはうれしかったと思うよ。 <p>かかわり合う授業</p> <p>(2) 貝殻がどこにあるか、どんなものか想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海で拾ったことがあるよ。 ・拾った貝殻を自分の宝物にしたことがあるよ。 <p>(3) 学習の流れを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに聞いてもらうんだね。楽しみだな。 ・どんなことを伝えようかな。 <p>(4) 「かいがら」の読み聞かせを聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くまの子は、やさしいなあ。 ・この「 」は何だろう。 ・この言葉の意味が分からないなあ。 <p>3 今日の学習を振り返る。</p>	<p>○「おおきなかぶ」のあらすじを想起させた上でモデルを見せる。</p> <p>○「おおきなかぶ」を例に挙げ、「登場人物」という言葉をおさえる。</p> <p>○実物の貝殻を見せ、貝殻を拾った経験がある児童には話をさせる。</p> <p>※貝殻を知らない児童には、貝殻を見せたり触らせたりして、海にあることを想像させるよう支援する。</p> <p>○どんな登場人物が出てくるのか意識させながら聞くようにさせる。</p> <p>※「 」は会話を表していることを知らせ、会話文に加え、挿絵にも着目させるよう声をかける。意味が分からない言葉については、次時に学習することを伝えておく。</p> <p>○口頭で発表させる。</p> <p>☆「きっと(^O^)(>_<)カード」というめあてに興味をもち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。【関】(発言、行動観察)</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 「かいがら」のお話には、どんな登場人物がいるのか、分からない言葉はないか考えながら全文を音読してくる。</p>	<p>○次時は、「かいがら」のお話について学習することを伝える。</p>

第二次 1時間目 (2/6)

(1) 目標 登場人物をとらえ、物語の大体をおさえながら読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>「きっと(^O^)(>_<)カード」を書くために</p> <p>「かいがら」は、どんなお話だろう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 会話文の話者を考える。</p> <p>(2) 全文を音読する。 ○役割分担をして音読する。</p> <p>(3) 登場人物を確認する。 ・誰が出てきたかな。 ・くまの子とうさぎの子が出てくるね。 ・挿絵を見れば、誰が出てくるか分かるね。</p> <p>(4) 分からない言葉を確認する。</p> <p>自力解決の場合</p> <p>(5) 「かいがら」のお話を簡単にまとめる。</p> <p>かかわり合う授業</p> <p>(6) 全体で交流する。 ・くまの子がうさぎの子に貝殻をあげたお話。 ・くまの子がうさぎの子に一番好きな貝殻をあげたお話。 ・くまの子がうさぎの子にしまもようの貝殻を悩んだけどあげたお話。</p> <p>3 学習の振り返りをする。</p>	<p>○教科書の会話文の上に④→くまの子、⑤→うさぎの子を記入させる。</p> <p>○どんな登場人物がいるのか、「かいがら」はどんなお話なのか考えながら音読させるようにする。くまの子は男子、うさぎの子は女子、地の文は教師で役割分担をする。</p> <p>※登場人物が分からない児童には、挿絵に目を向けさせ、「誰がいるかな？」と声をかけ支援する。</p> <p>○言葉の意味を説明できる児童がいれば説明させる。</p> <p>☆登場人物をとらえ、物語の大体をつかむことができる。 【読】(発言、ノート)</p> <p>※「誰」が「誰」に「何」をしたお話なのか、まとめ方のモデルを提示する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 好きな場面はどこか、なぜその場面が好きなのか理由も考えながら音読してくる。</p>	<p>○次時は、好きな場面について学習することを伝える。</p>

第二次 2時間目 (3/6)

(1) 目標 場面という言葉をおさえ、自分の好きな場面を選ぶことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>「きつと(^O^)(><)カード」を書くために</p> <p>好きな場面について考えよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 場面分けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かいがら」のお話は、4つの場面に分けられるんだ。 ・挿絵で考えると分かりやすいね。 <p>(2) 全文を音読する。</p> <p>自力解決の場</p> <p>(3) 好きな場面を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕は、②の場面が好きだな。 ・私は、④の場面が好きだな。 <p>(4) 好きな場面を短い文でまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くまの子がうさぎの子に貝殻を見せる場面 ・くまの子がうさぎの子にしまもようの貝殻をあげるか悩む場面 ・くまの子がうさぎの子に貝殻をあげる場面 ・くまの子とうさぎの子が貝殻を耳にあてる場面 ・どうやって書けばいいのかな。 <p>かかわり合う授業</p> <p>(5) 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えることと悩むことは似ているね。 ・あげた貝殻は、しまもようの貝殻だね。 ・しまもようの貝殻は、くまの子が一番気に入っていた貝殻だったね。一番好きな貝殻だね。 <p>3 今日の学習を振り返る。</p>	<p>○「場面」という言葉を知らせる。</p> <p>※「場面」とは小さなお話であること、日付・場所などが変わると、場面が変わることも知らせる。</p> <p>○挿絵を提示する。</p> <p>○どの場面が好きなのか考えながら音読させる。</p> <p>○自分が好きな場面は、誰がどんなことをした場面なのか考えさせる。</p> <p>○「■■が◇◇をした場面」という形でまとめるようモデルを提示する。</p> <p>☆自分の好きな場面を選んでいる。 【読】(ノート、発言)</p> <p>※悩んでいる児童には、前時の学習を想起させ「誰が誰に何をしたの?」と尋ね支援する。</p> <p>○意図的に指名をし、表現にはいろいろあることに気付かせる。</p> <p>○口頭で発表させる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 なぜ、その場面が好きなのか登場人物がしたことや話したことをもとに理由を考えながら音読してくる。</p>	<p>○次時は、好きな場面のわけについて学習することを伝える。</p>

第二次 3時間目（4／6） 本時

(1) 目標 自分の好きな場面について、登場人物の行動や会話に着目し、想像しながら読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>「きっと(^O^)(>_<)カード」を書くために</p> <p>好きな場面のわけを考えよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、本時へ向けて目的意識をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 全文を音読する。</p> <p>自力解決の場</p> <p>(2) 好きな場面のわけをノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1の場面が好きだな。わけは、くまの子が拾ってきた貝殻をうさぎの子に上げようと思っ て見せていたから。 ・どうやって書けばいいのかな。 ・2の場面が好きだな。わけは、一番好きなしま 模様 の貝殻をうさぎの子にあげようか、や めようか、一生懸命に考えていたから。 ・3の場面が好きだな。一番好きな人に一番好 きなものをあげたくまの子がとても優しいと 思ったから。 ・4の場面が好きだな。わけは、うさぎの子は 「ありがとう。本当にありがとう。」と一番 好きな貝殻をくれたくまの子の気持ちが分か っていて、二人ともすごく仲がいいと思っ たから。 <p>かかわり合う授業</p> <p>(3) 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○君は僕と同じ場面を選んでいて、わけも 似ているな。 ・好きな場面は同じだけど、わけは少し違うな。 ・私は、その場面を選んでいないけど○○さん の意見はよく分かるな。私も、あの行動から 同じようなことを思ったから。 <p>3 今日の学習を振り返る。</p>	<p>○登場人物を確認する。</p> <p>○好きな場面のわけを考えながら音読させる。</p> <p>○ノートのまとめ方を提示する。</p> <p>○教科書に書かれている会話文や行動をわけ の中に入れて書いてもよいことを伝える。</p> <p>※悩んでいる児童には、選んだ場面の中の登場 人物のどんな行動や会話が気になったのか 尋ね支援する。</p> <p>☆自分の好きな場面について、登場人物の行動 や会話に着目し、想像しながら読んでいる。 【読】(ノート、発言)</p> <p>○好きな場面のわけを発表するだけでなく、自 分を選んでいない場面のわけを聞いた感想 も発表させるようにする。</p> <p>○口頭で発表させる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 今日考えたわけに自分の経験を結び 付けたり、自分だったらどうするか考 えながら音読してくる。</p>	<p>○次時は、「きっと(^O^)(>_<)カード」にまと めることを伝える。</p>

第二次 4時間目 (5/6)

(1) 目標 登場人物の行動や会話を中心に、気持ちを想像しながら読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>自分の気持ちを伝えるために</p> <p>「きっと(^O^)(>_<)カード」にまとめよう。</p>	<p>○全体で単元のゴールを確認し、これまでの活動のつながりをもたせて本時への意欲化を図る。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1)「きっと(^O^)(>_<)カード」に書く内容を確認する。</p> <p>①登場人物の気持ち ②なぜ、そう思ったのか ③自分の経験と結び付けて、または、自分だったらどうしたか ④物語の題名、登場人物の挿絵</p> <p>自力解決の場</p> <p>(2)「きっと(^O^)(>_<)カード」を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうやって書けばいいのかな。 ・くまの子は、○○だったと思うよ。なぜかという、●●●●●だから。僕も、△△△△△した時、くまの子と同じで○○だったから。 ・うさぎの子は、□□だったと思うよ。なぜかという、■ ■ ■ ■ ■だから。私だったら、うさぎの子と同じで▽▽▽▽▽の時、□□だと思うから。 <p>3 今日の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰かに見てもらいたいな。 ・他の友だちは、どんな風にしたのかな。 ・この学習のゴールが見えてきたぞ。 	<p>○教師のモデルを見せながら、カードに書く位置、書く順序を説明する。</p> <p>○②については、教科書に書かれていることを中心に考えさせる。③については、似たような経験をしたことがない場合は、自分だったらどうするか考えさせる。</p> <p>※書くことに悩んでいる児童には、前時の学習を想起させ、教師のモデルを見せながら、好きな場面の気になった登場人物は誰か、その登場人物はどんな気持ちだと思うか尋ね、これまでの学習を生かしながら書いていけるように支援する。</p> <p>○誤字・脱字がないように書いたものを自分で声に出して読みながら確認させる。</p> <p>☆登場人物の行動や会話を中心に、気持ちを想像しながら読んでいる。</p> <p>【読】(きっと(^O^)(>_<)カード、行動観察)</p> <p>○作業が速い児童には、色付けを行わせる。</p> <p>○口頭で発表させる。</p>
<p>3 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 書いたものをもう一度読み返し、誤字や脱字がないかチェックし、挿絵の部分も含めて「きっと(^O^)(>_<)カード」を仕上げてくる。</p>	<p>○次時は、「きっと(^O^)(>_<)カード」にまとめたことを全体の前で発表し、この単元の学習を振り返ることを伝える。</p>

第三次 1時間目 (6/6)

- (1) 目標 想像した登場人物の気持ちや自分の経験と結び付けたり、自分だったらどうするかなど根拠をもって考えた自分の気持ちを伝えることができる。
- (2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>自分の気持ちを伝えよう。</p>	<p>○単元のゴールを確かめさせ、本時への目的意識をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 個人で練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家でも練習してきたから大丈夫。 ・自信がないなあ。 <p>かかわり合う授業</p> <p>(2) 「きっと(^O^)(>_<)カード」をもとに自分の気持ちを伝え合う。</p> <p>①ペアを作り、一人ずつ発表する。</p> <p>②発表者に対して感想・質問を伝える。</p> <p>③感想をもらったらお礼を返す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕も〇〇さんと同じ気持ちだな。 ・〇〇さんは、そんな風に想像したのか。 ・私も〇〇君と同じ体験をしたことがあるよ。 ・〇〇さんが言っている貝殻って、しま模様の貝殻のことかな。 ・聞いてくれて、ありがとう！ <p>3 これまでの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを伝えることができた。 ・大きな声で発表することができた。 ・別の物語でもやってみたい。 	<p>○自信をもって自分の気持ちを伝えることができるようにする。</p> <p>※「きっと(^O^)(>_<)カード」にまとめたことを発表するので、自信をもって自分の気持ちを伝えることができるように傍で聞き、励ましながら支援する。</p> <p>○発表する順番を確認する。</p> <p>○発表のどんなところが良かったのか、書かれない内容で共感できるところなどを見つけながら聞くようにさせる。声の大きさや読む速さについて感想だけで終わらせないようにし、後で友だちにどんな感想を言われたのか聞くことを伝える。</p> <p>○グループを回り、書かれている内容に対して良さを見つけて感想を伝えたり、場面・登場人物が自分とは違っていても共感的な感想を伝えている児童は特に評価する。</p> <p>☆自分の経験と結び付けたり、自分だったらどうするかといった根拠をもって考えた登場人物の気持ち、自分の気持ちを伝えようとしている。</p> <p>【読】(行動観察、発言)</p> <p>○国語日記を書く。</p>
<p>3 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 「きっと(^O^)(>_<)カード」を持って帰り、お家の人に自分の気持ちを伝えてくる。</p>	<p>○この単元で学習したことを普段の「読む」活動の中に使い、想像しながら楽しんで物語を読んでいくことを伝える。</p>

※もう1時間追加し、「きっと (^0^) (>_<)カード」をきちんと仕上げる時間が
必要かもしれない。5/6と6/6の間で。その1時間を利用して、教師が全員の
カードをチェックする時間を設け、誰がどんなことを書いているのか把握してお
く。また、誤字・脱字についても指導を入れ、きちんと仕上げることができるよ
うにする。このことがペア学習や全体交流の充実につながると考えられる。